

日本ソムリエ協会福島支部  
初代支部長に就く

### 伊藤勝仁さんに聞く

日本ソムリエ協会の福島支部が一月一日設立される。初代支部長に就く福島市の伊藤勝仁さん(福島市、ワイン&チーズ マリアージュ)は福島民報社のインタビュアーに「誰もが気軽にワインを楽しめる文化を県内に広めていきたい」と抱負を語った。

「福島の支部設立の経緯は。昨年まで本県は宮城、山形両県と南東北支部を構成していた。今年四回のセミナーを開いてきた。今後は県内で開催するセミナーの回数を増やし、県内全域からの参加を募りたい」と意気込みを語る福島支部長に就く伊藤さん



「県内にワイン文化を広めたい」と意気込みを語る福島支部長に就く伊藤さん

## ワイン文化広めたい 消費拡大につながる事業も

「県内でワインの産地化が広がっている。若手会員の育成に力を入れていく。第一弾として二十七歳以下の入会金、年会費を、初年度のみ無料にする特典を設ける。その他に日曜日、祝日の夜間セミナーを開催する」

「県内でワインの産地化が広がっている。若手会員の育成に力を入れていく。津、二本松など県内全域にワイナリーがある。以前に比べてワインに対する距離感が近くなり、身近な存在に感じている。県内産ワインの消費拡大につながる事業も考えていきたい」

### 来年もソムリエ講座

#### 福島の追分

33歳以下 追分のソムリエ講座の5つの特長

1. 合格者が輩出!
2. 実績のある講師
3. 豊富な試飲
4. USA飲本を使用
5. 確かな受講料

ていく。飲食店や酒店の関係者だけでなく、二十歳以上のワイン好

いとう・かつひと 郷町出身、若松商高卒。2000(平成12)年、23歳でソムリエ、28歳でより難度の高いシニアソムリエに合格した。2010年に福島市に「マリアージュ」を開店し、オーナーソムリエを務める。ソムリエ呼称資格試験の審査に携わる。福島市在住。40歳。

業務用酒類卸の追分(本社・福島市)は「県内に百人のソムリエ誕生」を目指しており、来年も講座を開設する。写真。

ワイン輸入・卸売大手の飯田(本社・大阪)ワイン事業部東京営業所長の大沢道明さんが講師を務め、二〇一六(平成二十八)年と二〇一七年で十六人の合格者を輩出した。

来年は二月から八月まで毎月一回講座を開き、二次試験対策も行う。受講料は試飲、テキスト、昼食などを含め六万円。申し込みと問い合わせは追分 電話024(534)3784(月曜から土曜の午前九時〜午後六時半)へ。